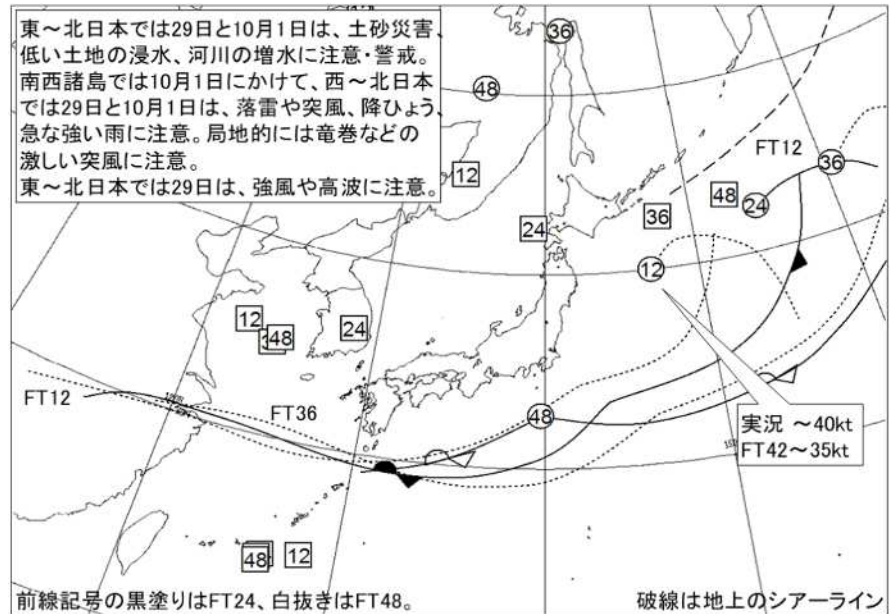


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5700m付近の -15°C 以下の寒気を伴ったトラフが北日本を通過中。トラフに対応して、前線を伴った発達中の低気圧が三陸沖にあって東北東進。前線が西～東日本太平洋側にのびる。また、北陸地方付近は地上の気圧の谷となっている。上空寒気と、前線や低気圧、気圧の谷の周辺の下層暖湿気の影響で、西～北日本では局地的に雷を検知し強い雨や激しい雨を解析。
- ② ①の前線や低気圧、気圧の谷周辺では気圧の傾きが大きくなっており、やや強い風が吹き、波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、29日は発達しながら日本の東を東北東進し、前線は日本の南にのびる。また、気圧の谷は東日本を南下する。上空寒気と、前線や低気圧、気圧の谷周辺の下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。29日は、東～北日本では土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、西～北日本では落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 2項①の前線や低気圧周辺では、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。東～北日本では29日は、強風や高波に注意。
- ③ 2項①の前線は、10月1日にかけて東シナ海～奄美地方～日本の南に停滞する。前線に向かって大陸や沖縄の南の高気圧縁辺を回る下層暖湿気が流れ込み、大気の状態が不安定となり雷を伴った強い雨の降る所がある。南西諸島では10月1日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ④ 10月1日は、500hPa 5760m付近で -12°C 以下の寒気を伴ったトラフが西～東日本を通過する。上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。10月1日は、東～北日本では土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、西～北日本では落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考とする。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：伊豆諸島3m。
- ③ 高潮(明日まで)：西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。